

2017年9月7日

北海道自治体学会会員各位

議会技術研究会共同代表 渡辺三省 西科純
北海道地方自治研究所理事長 佐藤 克廣
g-mix (議会事務局メーリングリスト) 管理者 木須 美紀

「議会技術研究フォーラム 2017」の開催について

時下ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、本年1月に北海道自治体学会・技術研究会を設立し(8月末現在会員数74人)、現在精力的に活動しているところであります。これは、栗山町議会基本条例制定から10年を経過し、「議会改革の第2ステージ」が叫ばれる今日、向かうべきその方向性及び具体化策を探ることに加え、さまざまな要因で第1ステージの段階で踏みとどまる議会の苦悩の打開策についても情報交換・交流を通じ志や知識を共有しながら乗り越え、それぞれのまちの住民の福祉向上につなげることを目的とするものです。

このたび、当研究会、北海道地方自治研究所、g-mix(議会事務局職員メーリングリスト)との共催により、次のとおり初のフォーラムの開催の運びとなりましたので、会員の皆様におかれましては、是非御参加いただければ幸いに存じます。

記

- 1 フォーラム名 議会技術研究フォーラム 2017
 - ・主催：北海道自治体学会・議会技術研究会、北海道地方自治研究所、g-mix
 - ・後援：北海道市議会議長会、北海道町村議会議長会
- 2 開催日時 10月21日(土)14:00~18:00(受付開始13:00)
- 3 開催場所 北海道自治労会館3F中ホール(札幌市北区北6条西7丁目5-3)
- 4 テーマ 「議会改革第2ステージとは何か」
- 5 参加費 1人 1,000円(当日受付時)
- 6 申込締切 10月6日(金)まで、別紙により申込ください
- 7 参加定員 130名(定員になりしだい締め切ります)
- 8 内 容
 - ・基調講演 神原 勝氏(北海道大学名誉教授・議会技術研究会顧問)
テーマ「市民による『議会の発見』と『政策議会』の展望」
 - ・パネルディスカッション
テーマ「市民による『議会の発見』と『政策議会』の展望」
パネリスト・鶴川和彦氏(栗山町議会議長)／木須美樹(g-mix 管理者)／渡辺三省(議会技術研究会共同代表)／コーディネーター・神原 勝氏
 - ・基調報告 清水克士(滋賀県大津市議会・議会局次長)
テーマ『議会の「常識」は真理なのか?~第2ステージで軍師に求められるもの~』
 - ・ワークショップ
テーマ「議員間討議の推進」
コーディネーター・西科 純(議会技術研究会共同代表)
- 9 交流会 4,000円(先着順50人/当日受付時)
ソプラッチリア(札幌市北区北7条西6丁目チュリス札幌第2 1F)
- 10 お問い合わせ先 北海道地方自治研究所 辻道 (札幌市北区北6条西7丁目
北海道自治労会館2F / TEL 011-747-4666 / FAX 011-747-4667)
- 11 その他 ネームホルダーと氏名等記入のうえ(名刺可)各自御持参ください。

「議会技術研究フォーラム 2017」

開催要領・日程等

開催日時	10月21日（土）14:00～18:00（受付開始13:00）
開催場所	北海道自治労会館3F中ホール（札幌市北区北6条西7丁目5-3）
テーマ	「議会改革第2ステージとは何か」
開催趣旨	栗山町議会基本条例制定から10年を経過し、「議会改革の第2ステージ」が叫ばれる今日、向かうべきその方向性、具体化策を探る。 また、さまざまな要因で第1ステージの段階で踏みとどまる議会の苦悩の打開策についても情報交換・交流を通じ志や知識を共有しながら乗り越え、それぞれのまちの住民の福祉向上につなげることを目的とする。
スケジュール 14:05～14:50	第1部・基調講演 テーマ「市民による『議会の発見』と『政策議会』の展望」 神原 勝氏（北海道大学名誉教授・議会技術研究会顧問）
14:55～16:20	第2部・パネルディスカッション テーマ「市民による『議会の発見』と『政策議会』の展望」 パネリスト 鵜川和彦（栗山町議会議長） 木須美樹（g-mix（議会事務局メーリングリスト）管理者） 渡辺三省（議会技術研究会共同代表） コーディネーター 神原 勝
16:30～16:55	第3部・基調報告 清水克士（滋賀県大津市議会・議会局次長） テーマ『議会の「常識」は真理なのか？～第2ステージで軍師に求められるもの～』
17:00～18:00	第4部・ワークショップ テーマ「議員間討議の推進」 コーディネーター 西科 純（議会技術研究会共同代表）
18:30～20:30	交流会（参加費4000円／先着50人） 場所・ソプラッチリア Sopracciglia 札幌市北区北7条西6丁目 チュリス札幌第2 1F

基調講演／パネルディスカッション・コーディネーター

「市民による『議会の発見』と『政策議会』の展望」 神原 勝（かんばら・まさる）



北海道大学名誉教授。1967年中央大学法学部卒業。財団法人東京都政調会研究員、財団法人地方自治総合研究所研究員を経て、1988～2005年北海道大学大学院法学研究科教授、2005年北海道大学名誉教授。2005～2013年北海学園大学法学部教授。専攻・自治体学。著書『自治・議会基本条例論』（増補版、公人の友社2009年）、『総合計画の理論と実務』（編著、公人の友社2015年）、『戦後自治の政策・制度事典』（編著、公人社2016）など。

基調報告

『議会の「常識」は真理なのか？～第2ステージで軍師に求められるもの～』 大津市議会議会局次長 清水 克士（しみず・かつし）



同志社大学法学部卒。1985年大津市役所入庁企業局総務課総務係長として法務を担当。産業政策課副参事として、企業立地促進条例を制定しての企業誘致などを経て、現在、大津市議会局次長。議会と大学との連携を主導し、議会BCP、ICT化構想、議会ミッションロードマップ（議会版実行計画）、「軍師ネットワーク」などを企画立案。著書に「議会事務局のシゴト」（ぎょうせい）、月刊ガバナンスで「議会局軍師論のススメ」を連載中。g-mix会員。

パネリスト

議会事務局メーリングリスト(g-mix)管理者 木須 美樹（きす・みき）



議会事務局メーリングリスト(g-mix)管理者。議会事務局研究会会員。長崎県長与町役場(学校教育課長補佐)。長与町役場入庁後、福祉課(6年)、学校教育課(8年)、議会事務局(8年3か月)、生涯学習課(9か月)、学校教育課(2016年4月～)。議会の持つ可能性やg-mixで出会った仲間達の熱い想いに魅せられて、議会事務局異動後も議会に関する活動を続けている。

パネリスト

栗山町議会議長 鵜川 和彦氏（うかわ・かずひこ）



小樽商科大学商学部経済学科卒。(株)グラベル取締役、ユニ建材(有)取締役を経て2002年ユニ建材(有)代表取締役に就任。2007年栗山町議会議員就任(現在3期目)。2011年議長就任(現在2期目)。南空知ふるさと市町村圏組合議会副議長。道央廃棄物処理組合議会議員。議会の広報広聴機能強化を推進し、情報公開と住民参加の議会運営に取り組む。

パネリスト

議会技術研究会共同代表 渡辺 三省（わたなべ・かずみ）



札幌市役所(総務局行政情報課長)。1959年生。1981年札幌市役所採用。1989～1999年議会事務局(この間1993～1995年全国市議会議長会に派遣)、オンブズマン事務局次長、西区総務企画課長を経て現職。「議会基本条例の制定を契機としたこれからの議会の姿<議会基本条例要綱研究会試案>」(北海道自治研究430 2004.11)、「札幌市オンブズマン～その意義と今後の展望」(北海道自治研究581 2017.6)など。北海道自治体学会員(運営委員・前監事)。

ワークショップ「議員間討議の推進」コーディネーター

議会技術研究会共同代表 西科 純（にしな・じゅん）



芽室町役場(税務課長)。1963年生。芽室町役場入庁後、北海道庁・北海道町村会派遣を経て、企画財政課長・住民生活課長・子育て支援課長・議会事務局局長・税務課長。「自治体議会の政策サイクル-議会改革を住民福祉の向上につなげるために」(共著、公人の友社、2016年)など。自治体学会(前運営委員)、北海道自治体学会員(前代表運営委員)、議会事務局研究会会員。g-mix会員。